

問1 GHQが行った経済民主化政策において、解体された独占的な巨大企業グループを何という？

1. 経済同友会 2. 農地委員会 3. 労働組合 4. 財閥

問2 1947年に実施され、引揚者の帰還などにより戦後直後の日本国内で急増した人々の数を把握するために行われた調査を何という？

1. 学校基本調査 2. 国勢調査 3. 住宅・土地統計調査 4. 経済センサス

問3 アメリカの統治下に置かれていた沖縄が、軍事拠点として大きな役割を果たした、1960年代から70年代にかけてのアメリカによるアジアでの介入戦争を何という？

1. 湾岸戦争 2. 朝鮮戦争 3. ベトナム戦争 4. 中東戦争

問4 農地改革において、政府が強制的に土地を買上げた対象を何という？

1. 地主 2. 小作人 3. 労働者 4. 経営者

問5 1955年に広島で開催された、核兵器禁止を求める大規模な大会を何という？

1. 日米安全保障条約調印 2. 第1回原水爆禁止世界大会 3. アジア・アフリカ会議 4. 平和十原則採択

問6 日本国憲法において、国際紛争を解決する手段としての武力行使を永久に放棄し、世界に平和を望むことを何という？

1. 基本的人権の尊重 2. 法の支配 3. 国民主権 4. 恒久平和

問7 1970年、日本で初めて国際博覧会として開催され、科学技術の進歩を世界に示すきっかけとなった出来事を何という？

1. 大阪万博 2. つくば万博 3. 愛知万博 4. 沖縄海洋博

問8 1951年に日本とアメリカの間で結ばれ、日本国内のアメリカ軍基地の使用や駐留を認める取り決めを何という？

1. 日米和親条約 2. 日米共同宣言 3. 日米安全保障条約 4. 日米修好通商条約

問9 戦後、日本が実現した、長期にわたって高い経済成長率を維持し続けた期間を何という？

1. バブル経済 2. 高度経済成長 3. 安定成長期 4. 経済復興期

問10 1956年に日本が加盟を認められた、平和と国際協力を目的とする国際組織を何という？

1. 国際連盟 2. 世界貿易機関 3. 国際通貨基金 4. 国際連合

問11 朝鮮特需によって経済が急速に回復し、その後の日本が遂げた目覚ましい経済発展の期間を何という？

1. バブル経済 2. 明治維新の工業化 3. 高度経済成長 4. 安定成長期

問12 日本国憲法が保障する、人間が人間として尊重され、個人の権利が社会の中で大切に扱われる理念を何という？

1. 個人の尊厳 2. 公共の福祉 3. 表現の自由 4. 法の下での平等

問13 1973年、日本国内で石油価格が急激に高騰し、戦後初めてのマイナス成長を招いた「石油危機」の引き金となった戦争を何という？

1. 第二次中東戦争 2. 第四次中東戦争 3. 第三次中東戦争 4. 第一次中東戦争

問14 第二次世界大戦後、自由主義や市場経済を掲げ、資本主義陣営の中心となった国を何という？

1. イギリス 2. フランス 3. 西ドイツ 4. アメリカ合衆国

問15 第二次世界大戦後、多くの国が独立したことで加盟国が増え、国際社会での影響力を強めた機関は何という？

1. 国際連合 2. 国際連盟 3. 世界保健機関 4. 世界貿易機関

答え合わせ・解説

問1	答え 4 財閥	三井、三菱、住友、安田といった財閥は、多くの会社を傘下に持ち、日本経済全体に絶大な影響力を持っていました。GHQは、これら財閥を解体し、各企業を独立させることで、公正な競争ができる資本主義社会を目指しました。
問2	答え 2 国勢調査	1947年に行われた国勢調査は、戦後の社会状況を正確に把握する役割を果たしました。この調査により、食糧難や住宅不足などの社会問題を解決するための政策が練られました。
問3	答え 3 ベトナム戦争	当時の沖縄はアメリカの施政権下であり、膨大な軍事基地を抱える「太平洋の要石」として、ベトナム戦争における米軍の重要な兵站拠点や出撃基地となりました。
問4	答え 1 地主	GHQの指示で行われた農地改革では、政府が地主から農地を強制的に買い上げ、それを実際に耕作していた小作人たちに安価で売り渡しました。これにより、封建的な地主制度が解体されました。
問5	答え 2 第1回原水爆禁止世界大会	その機運の高まりを受けて、1955年に広島で「第1回原水爆禁止世界大会」が開催されました。被爆地である広島に世界中の人々が結集し、核兵器の使用禁止と平和な世界の構築を訴える画期的な出来事となりました。
問6	答え 4 恒久平和	日本国憲法は、平和主義を掲げ、戦争の放棄と戦力不保持を定めました。これは、武力によらない国際協調を追求する決意を示しています。
問7	答え 1 大阪万博	正式名称は日本万国博覧会で、世界中の国々が参加し、最新の技術や文化を紹介しました。多くの日本国民が来場し、科学技術に対する関心が高まりました。
問8	答え 3 日米安全保障条約	この条約により、アメリカ軍の日本駐留が認められ、アメリカは日本を防衛する義務を負う一方、日本国内に軍事基地を置く権利を獲得しました。1960年には改定が行われ、より対等に近い形での協力が目指されました。
問9	答え 2 高度経済成長	1950年代半ばから1973年頃まで、日本は毎年10%近い成長を続けました。鉄鋼・造船・自動車などの重化学工業が中心となり、国民の生活水準も劇的に向上しました。三種の神器（テレビ、洗濯機、冷蔵庫）が普及したのもこの時期です。
問10	答え 4 国際連合	1956年の日ソ共同宣言によってソ連との関係が改善されたことで、日本は国際連合への加盟が承認されました。これ以後、日本は国際社会の一員として、外交活動を積極的に展開するようになりました。
問11	答え 3 高度経済成長	1955年頃から1973年の石油危機まで、日本は年平均10%に近い高い経済成長率を維持しました。三種の神器（白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫）が普及し、人々の暮らしは大きく豊かになりました。
問12	答え 1 個人の尊厳	憲法第13条には「すべて国民は、個人として尊重される」と明記されており、個人の生命、自由、幸福追求の権利が守られるべきだという民主主義の核心を示しています。
問13	答え 2 第四次中東戦争	1973年に勃発した第四次中東戦争において、産油国が原油価格の大幅な引き上げと供給削減を行いました。これが「オイルショック（石油危機）」を招き、世界中の経済が大混乱に陥りました。
問14	答え 4 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、自由主義や市場経済を重視する国家群の中心として、西側諸国をリードしました。ソ連を中心とする東側諸国と激しく対立しました。
問15	答え 1 国際連合	当初は欧米中心の組織でしたが、1960年代以降、アジアやアフリカの独立国が次々と加盟したことで、より多様な意見を持つ国際的な場へと変貌しました。